

2009年

11月29日

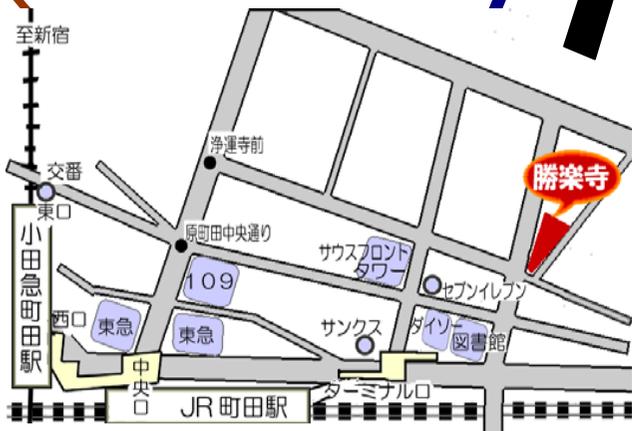
(日)

2:30~ 5:00

(2:00 開場)

参加費 500 円

場所 勝楽寺



勝楽寺：東京都町田市原町田3-5-12  
 小田急線「町田駅」東口・西口より徒歩約13分  
 JR線「町田駅」ターミナル口より徒歩5分

今は、経済のことは難しい  
 と言って済ませられる時代  
 ではありません。できるだ  
 け分かりやすく話すことを  
 心がけたいと思います。



せきひろの  
 関曠野さん

■関曠野(せき ひろの)さん  
 1944年生まれ。評論家(思想史)。共同通信記者を経て、1980年より在野の思想史研究者として文筆活動に入る。思想史全般の根底的な読み直しから、幅広い分野へ向けてアクチュアルな発言を続けている。著書に『プラトンと資本主義』『ハムレットの方へ』(以上、北斗出版)『野蠻としてのイエ社会』(御茶の水書房)『歴史の学び方について』(窓社)『みんなのための教育改革』(太郎次郎社)『民族とは何か』(講談社現代新書)などがある。また訳書に『奴隷の国家』ヒリア・ベロック(太田出版)がある。現在、ルソー論(『ジャン=ジャックのための弁明 — ルソーと近代世界』)を執筆中。

# ベーシックインカム

を語る in 町田

~なぜベーシックインカムは  
 实际的で効果的な政策なのか~

●ベーシックインカム(基礎所得保証)のをご存じですか?

ベーシック・インカムとは、政府が全ての個人に対して毎月、基本の生活を送るのに必要とされている額の現金を無条件で支給するという構想。これは1970年代のヨーロッパで議論がはじまっており、最近、日本でも話題になり盛り上がっています。  
 ベーシックインカムは、地域経済格差、労働問題、福祉、教育、環境など、複雑な現代の社会問題を包括的に解決する糸口になるのではないかと期待されています。

主催 九条・まちだ  
 問合せ・申し込み

tel/fax 042-722-4935  
 tel/fax 042-726-5326

日本国憲法を尊重し、日本と世界の平和のために努力することは、現代に生きるわたしたちの責任であると考えます。私達も第一歩を踏み出すことが大事であると考え、自由民権運動の発祥の地である町田で「九条・まちだ」の活動をしています。九条を学びその精神を実現することを目的として、立場を超えて手をつなぎあう市民の動きをめざしています。

